



ひとまたぎ覆道周辺

三笠ジオパーク構想の モデルコースづくり — 野外博物館 —

【問合先】企画振興課政策推進係 ☎②3182 / 市立博物館 ☎⑥7545

豆知識

野外博物館ってなんだろう？

野外博物館は、昭和13年(1938年)から昭和31年(1956年)まで、桂沢(現在の桂沢湖がある周辺)で切り出した伐採木の搬出に用いられた森林鉄道の線路跡を利用して、動植物や地層の観察をすることができるルート(全長1.2km)として整備したものです。

先月号ではジオパーク構想について紹介しました。今月号ではジオパーク構想の見どころ(ジオサイト)をお伝えします。

ジオパーク構想を進めるには見どころであるジオサイトづくりが必要です。

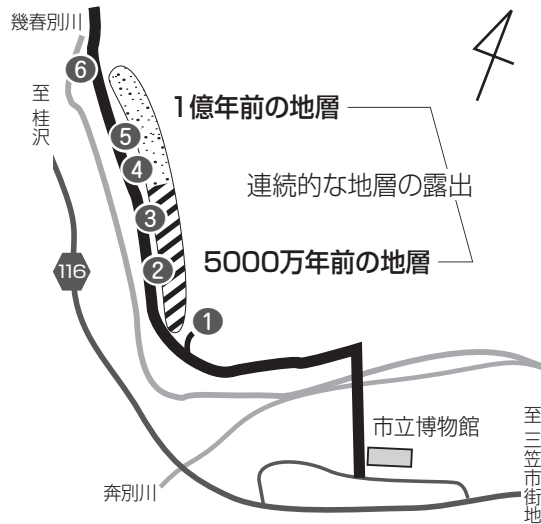
ジオサイトは地質に関連した文化遺産、産業遺産、自然遺産、観光スポットなども良いこととなつていますが、やはり地質が見えるジオサイトは必要です。

そこで、市ではモデルコースとして博物館の裏手にある野外博物館を考えています。

野外博物館

野外博物館は、石炭層などの地質や炭鉱遺産を近くで見ることが出来る散策コースですが、地質と遺産の両方が見える場所は珍しく、大変貴重な場所となっています。今年度、市ではこの場所を多くの人に知ってもらい、楽しんでもらえるよう、分かりやすい説明表示板などを設置します。

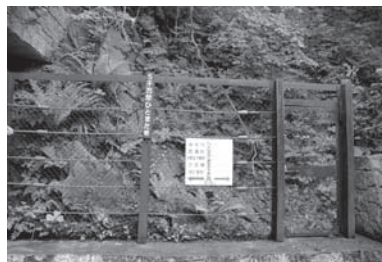
野外博物館の見どころ



6 鏡肌
かがみはだ
自然が作った造形美。断層で磨かれた面(鏡肌)を見ることができます。



5 ひとまたぎ覆道
ふくどう
これが断層！大地が動いた証しを間近で見ることができます。



4 5000万年ひとまたぎ
地層が一気にタイムスリップ！5000万年前の地層と恐竜時代の約1億年前の地層との境界です。



1 旧北炭幾春別炭鉱錦立坑
にしきたてこう
やぐら

かつての深さは195m。現存する道内最古の立坑やぐらです。



2 幾春別夾炭層
きょう
垂直の石炭層。大地の運動により地層が垂直に押し曲げられました。



3 石炭たぬき掘り跡
狸が穴を掘るように、明治時代の人も最初は手作業で石炭を採掘していました。先人の苦勞が感じられます。

ジオパークのガイドになりませんか？

旅

の楽しみをいっそう増やしてくれるのはガイドの案内です。市が推進する三笠ジオパーク構想でも、来訪者を案内するガイドがいなければ、せっかくの魅力も半減してしまいます。そこで市ではまちの魅力を分かりやすく来訪者へ紹介することのできるガイドの養成を行いたいと考えています。

まちの歴史や地質、地形などを分かりやすく学び、現地研修なども楽しく行いながら、一緒に三笠の素晴らしさを伝えませんか？

三笠ジオパーク構想では、来訪者に楽しんでもらうことが大切だと考えていますので、ガイドをするに当たっての専門的知識は必要ありません。

三笠が好きな人、三笠の好きな所や素晴らしさを伝えてみたいという気持ちをお持ちの方でしたらごなたでも歓迎します。

【応募条件】 満20歳以上で三笠ジオパーク構想の取り組みにご理解いただける方

【応募期限】 7月31日(火)

【活動日程】 今後の日程については、ガイドに参加することになった方に直接お知らせします。

【応募方法】 電話(☎)0131-82- または企画振興課窓口でお申し込みください。